

～科学技術体験センター“ミラクル” 体験装置～

自分の姿が、いろいろな形に変形して見える
不思議な世界を楽しむ装置

かがみ かがみ 鏡の壁

床をよく見ると、鏡がふくらんだり、
へこんだりしています。

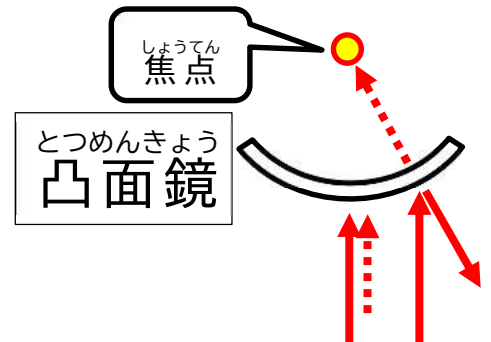
近づいたり、離れてみたりして、見え方
が変わるのか確かめてみましょう。



(※凸面鏡 凹面鏡 は球形の鏡を指しますが、「鏡の壁」は
どの身長の方でも楽しめるよう、円柱形の鏡になっています。)

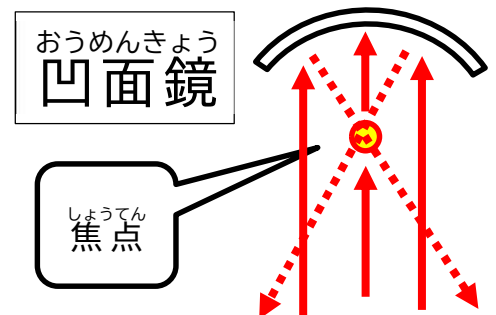
とつめんきょう ・凸面鏡のひみつ

ふくらんでいる鏡は「凸面鏡」といい、自分から鏡
に光を当てると、広がっていきます。反対に、周囲の風景
を自分が見るときは、広い範囲を小さな鏡の中に映すこ
とができます。このため、離れて見ると自分がやせて
見えます。



おうめんきょう ・凹面鏡のひみつ

へこんでいる鏡は「凹面鏡」といい、やせて見えるのは
同じですが、左右が入れ変わっています。さらに、近づいて
いくとどんどん太っていき、光が集まる「焦点」より近づく
と、左右がもどります。では焦点ピッタリに立つと…？



凸面鏡は道路のカーブミラーなどに利用され、広い範囲
を一度に確認するために使われています。凹面鏡は、光を
1カ所（焦点）に集める性質があるため、光のエネルギー
を集めてオリンピックの聖火をつけたり、望遠鏡で星の光
を集めたり、様々な用途で使われています。